

機械科 ガス溶接技能講習実施しました！

本校において、7月27日（木）は学科講習、7月28日（金）には実技講習を行いました。この講習を受けて試験に合格すると、可燃性ガスを用いた溶接、溶断、加熱作業の業務に就くことが可能となります。機械科の実習では、電気を用いた溶接は勿論、ガス溶接も行っていますので、資格取得が幅広く出来ます。

当日は島根労働基準協会さんのご指導の下、酷暑の中で頑張りました。溶接とは金属を溶かして接合する加工方法のことですが、高温の溶接炎が必要となります。そのため、アセチレンと酸素をトーチの中で混合し、燃焼させることで、約3000℃の炎を発生させます。非常に便利ですが、炎を直視すると目に良くないため、保護メガネを付けて作業をします。また、燃焼ガスを取り扱うため、法令や取り扱いの注意点をしっかりと学ぶことが重要になります。

何といっても醍醐味はガス溶断作業です。溶接とは真逆の作業になりますが、金属を溶かした後、高圧酸素で吹き飛ばして切断するのですが、ものすごい迫力です。溶けた鉄を吹き飛ばすと火花が激しく飛散します。生徒は緊張の面持ちで真剣に作業に取り組みました。

<実技講習の様子>

溶断作業



溶接器具の分解・組み立て

